承認パターン・外為取引権限の設定

道銀ビジネスWEBのご利用にあたっては、事前に「道銀ビジネスWEBサービス」の 初期設定が完了している必要があります。

「道銀ビジネスWEBサービス」の初期設定方法については「道銀ビジネスWEBサービス」の操作マニュアルを参照してください。

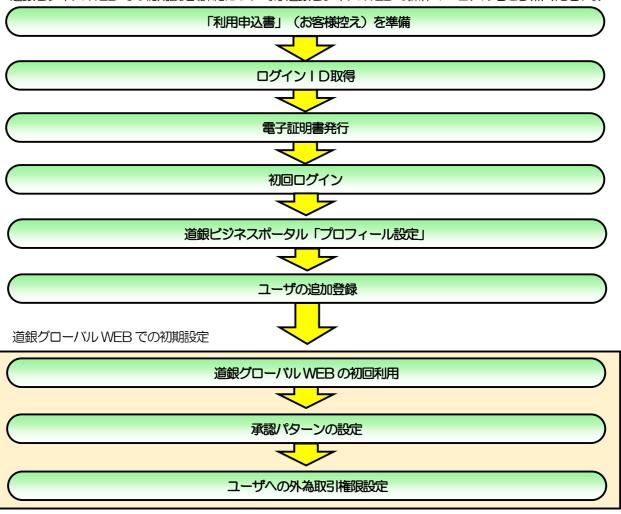


ご利用開始登録の流れ

道銀グローバル WEB をご利用いただくために、ログイン I D取得、承認パターンの設定などをお手続きいただ きます。

■マスターユーザの方

道銀ビジネス WEB での初期設定(詳細については道銀ビジネス WEB の操作マニュアルをご参照ください。)



■管理者ユーザ・一般ユーザの方

道銀ビジネス WEB での初期設定(詳細については道銀ビジネス WEB の操作マニュアルをご参照ください。)





2 承認パターンの設定

2.1 承認パターンの設定

道銀グローバル WEB のご利用にあたり、お客さまの社内の承認パターン設定を行ってください。

2.1.1 [各種管理] を選択します。



為替予約締結確認 (コンファーム) 未済のお取引

海輪予約 20 6 >

総結確認未済取引の件数をご確認のうえ、確認(コンファーム)操作を行ってください。

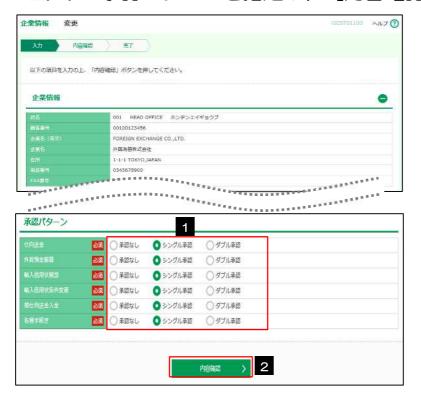
1 各種管理 を選択

2.1.2 取引選択画面を表示して、企業情報の [照会・変更] を選択します。



1 企業情報の 照会・変更 を選択

2.1.3 承認パターンを指定し、「内容確認」を押します。



×E

1 承認パターンを選択 🔓

業務ごとに「承認なし」/「シングル承認」/「ダブル承認」を選択することが可能です。

2 内容確認 ボタンを押す

▶承認パターンによってお取引の申込みまでの操作が異なります。 >>>> 「ご利用にあたって」参照★説パターン 説明お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパター

承認なし お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。
依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。
依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
お客さま社内で2段階の承認(一次承認→最終承認)を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。
依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を行ったのち、一次承認→最終承認者を指定して依頼操作を行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で弊行へのお申込みが完了します。

2.1.4 設定内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.1.5 承認パターンの設定は完了です。



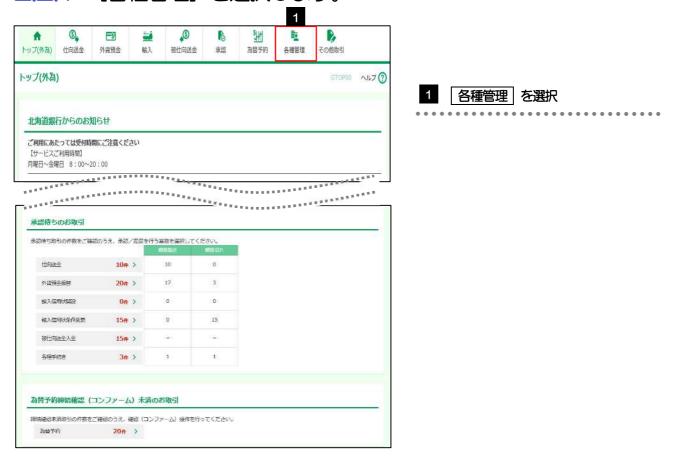
1 「ユーザへの外為取引権限設定」の操作手順へお進みください。

р

2.2 ユーザへの外為取引権限設定

道銀グローバルWEBのご利用にあたり、ユーザへの外為取引権限の設定を行ってください。 ユーザの追加登録を行われていない場合は、以上で「ご利用開始登録」は完了となります。 ※マスターユーザには、初めて道銀グローバル WEB を利用する際にすべての外為取引権限が自動的に設定されます。

2.2.1 [各種管理] を選択します。



2.2.2 取引選択画面を表示して、外為権限の [照会・変更] を選択します。



2.2.3 権限を付与するユーザの [ログインID] リンクを選択します。





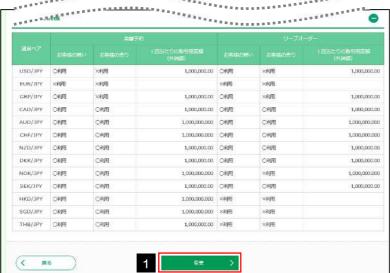
¥€

▶マスターユーザは、道銀グローバルWEBでは「管理者ユーザ」として登録されます。

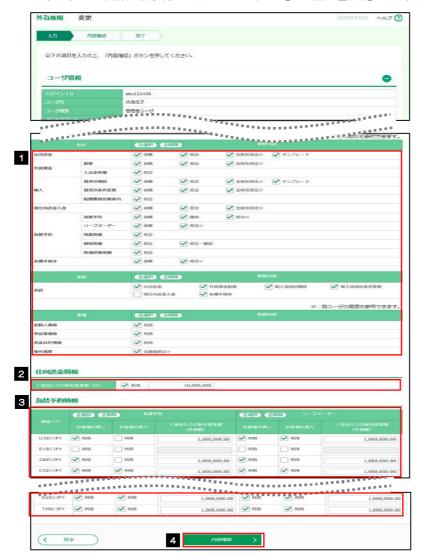
2.2.4 ユーザの情報を確認し、 [変更] を選択します。



1 変更 を選択



2.2.5 権限情報を設定し、 [内容確認] を押します。



1 権限情報を入力する 🔒

チェックした権限が該当ユーザへ付与されます。

1回当たりの取引限度額を設定する場合

2 仕向送金情報・限度額欄の□チェック、 および金額を変更

仕向送金取引において、該当ユーザが1取引当たり に依頼可能な金額の上限値(円貨額)を設定します。

3 為替予約情報を変更

「お客様の買い」「お客様の売り」ごとにチェックした通貨が利用可能となります。

また、入力した「一回あたりの取引限度額(上限)」内で為替予約、およびリーブオーダーの取引が可能となります。

4 内容確認 ボタンを押す

▶権限情報の登録内容欄をチェックした場合、以下の機能が利用できます。

↑ ×E

登録内容	説明	ユーザ	
		一般	管理者
依頼	対象取引の依頼データを作成することができます。	0	Δ
照会	自身が作成した取引、または自身が承認者に指定された取引を照会することができます。(為替予約・リーブオーダー・各種手続きでは、他ユーザが依頼・確認・承認した取引を含むすべての取引を照会することができます。)	0	Δ
全取引照会	他ユーザの取引を含むすべての取引を照会することができます。	0	Δ
テンプレート管理	テンプレートの登録・変更を行うことができます。	0	Δ
確認	締結済為替予約取引 ^{※1} の締結確認(コンファーム)を行うことができます。 (他ユーザが依頼した取引についても確認することができます。)	0	Δ
承認	対象取引の承認操作を行うことができます。	0	Δ
利用(依頼人情報)	依頼人情報の登録・変更を行うことができます。	0	Δ
利用(受益者情報)	受益者情報の登録・変更を行うことができます。	0	Δ
利用(送金目的情報)	送金目的情報の登録・変更を行うことができます。	0	Δ
全履歴照会	全ユーザの操作履歴を照会することができます。	0	0

- △:「管理者権限分離機能」をご利用のお客さまは設定できません。
- ▶「管理者権限分離機能」とは、管理者ユーザに設定できる権限を管理系業務の操作に限定し、実際の取引に関わる操作は一般ユーザのみ利用可能とする機能のことです。
- 「企業情報(承認パターン・通知メール)の設定」、および「ユーザへの外為取引権限設定」(本操作)については、管理者ユーザに対して自動的に権限が設定されます。(一般ユーザはご利用になれません。)

2.2.6 設定内容を確認し、[実行]を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.2.7 ユーザへの外為取引権限の設定は完了です。



続けてユーザへの外為取引権限設定を行う場合

1 「ユーザ情報一覧へ」を押す